

代表事例 No.	1	取組みタイプ	A.計画的植え替え
事例テーマ	事業告知前に街路樹診断の結果を共有して合意へ		
地域	関東（神奈川県）	事例種別	同种植え替え
管理者	横浜市	事業延長	約 2.5km

事例概要	異常発見（キノコ・老朽化）に対する安全確保のため、不健全木の植え替え、間引き及び再配置を実施しました。沿道住民の愛着が強いため、植え替え等に際して十分な理解を得ることが必要であると判断し、合意形成の取組みを行いました。																																												
事例テーマの解説	危険木の更新を念頭に置きつつも、まずは街路樹診断を行いました。その結果を分かりやすく示すことによって、愛着の強い沿道住民にサクラ並木に起こっている課題の理解を醸成しました。																																												
合意形成のプロセス	<table border="1"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>経過年数</th> <th>方法</th> <th>対象者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 20～24 年</td> <td>—</td> <td>街路樹診断</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="4">【内容等】 樹木医による街路樹診断を行い、サクラ並木の今後のあり方を地域住民等と一緒に検討するための資料とした。診断作業は、観察や計測をしながら記録や写真を撮り、一部簡単な機器測定を行った。</td> </tr> <tr> <td>平成 25 年 2 月</td> <td>1 年目</td> <td>検討会①</td> <td>連合町内会長、自治会長、沿道住民、まちづくり団体</td> </tr> <tr> <td colspan="4">【内容等】 最初に参加者が共通の認識が持てるように、勉強会から始めた。勉強会では、街路樹の効果、植え替え更新と寿命、倒木事故の事例、腐朽病とキノコ、病害等、街路樹診断による原因の把握等について樹木医から話を聞き、質疑応答を行った。続いて街路樹の現況について報告し、サクラの場所に健全度別の色分けをした大きな地図の周りに集まって、サクラの現状を理解していただいた。その後、意見交換と今後の進め方等を確認した。</td> </tr> <tr> <td>平成 25 年 9 月</td> <td>1 年目</td> <td>検討会②</td> <td>第 1 回と同じ</td> </tr> <tr> <td colspan="4">【内容等】 街路樹の設置基準や道路の建築限界を守りながらサクラ並木を持続させるため、土木事務所で作ったたたき台を提示し、意見をいただいた。街路樹の設置が可能な歩道の幅員、交差点・横断歩道・バス停等からの離隔、樹木の配置間隔、植樹の大きさ、枝の高さ等を確認した。更新計画のたたき台は、ブロックごとに更新方法を決め、配置図を提示して意見をいただいた。</td> </tr> <tr> <td>平成 26 年 9 月</td> <td>2 年目</td> <td>検討会③</td> <td>第 1 回と同じ</td> </tr> <tr> <td colspan="4">【内容等】 通りには歩道があるが、幅員の狭いところがあり、サクラの更新にあたっては、安全性に配慮すべき区間が出てくる。そこで、サクラ並木の持続を前提に、当該路線用の基準を作成し、検討会の意見を反映させながら、サクラの現状を生かした更新計画を策定した。</td> </tr> <tr> <td>平成 27 年 3 月</td> <td>3 年目</td> <td>広報資料配布</td> <td>地域住民等</td> </tr> <tr> <td colspan="4">【内容等】 街路樹更新計画を周知するため、管理者からの状況報告や説明と住民からの意見、決定事項を図面や写真を用い、分かりやすくまとめた。</td> </tr> </tbody> </table>	時期	経過年数	方法	対象者	平成 20～24 年	—	街路樹診断	—	【内容等】 樹木医による街路樹診断を行い、サクラ並木の今後のあり方を地域住民等と一緒に検討するための資料とした。診断作業は、観察や計測をしながら記録や写真を撮り、一部簡単な機器測定を行った。				平成 25 年 2 月	1 年目	検討会①	連合町内会長、自治会長、沿道住民、まちづくり団体	【内容等】 最初に参加者が共通の認識が持てるように、勉強会から始めた。勉強会では、街路樹の効果、植え替え更新と寿命、倒木事故の事例、腐朽病とキノコ、病害等、街路樹診断による原因の把握等について樹木医から話を聞き、質疑応答を行った。続いて街路樹の現況について報告し、サクラの場所に健全度別の色分けをした大きな地図の周りに集まって、サクラの現状を理解していただいた。その後、意見交換と今後の進め方等を確認した。				平成 25 年 9 月	1 年目	検討会②	第 1 回と同じ	【内容等】 街路樹の設置基準や道路の建築限界を守りながらサクラ並木を持続させるため、土木事務所で作ったたたき台を提示し、意見をいただいた。街路樹の設置が可能な歩道の幅員、交差点・横断歩道・バス停等からの離隔、樹木の配置間隔、植樹の大きさ、枝の高さ等を確認した。更新計画のたたき台は、ブロックごとに更新方法を決め、配置図を提示して意見をいただいた。				平成 26 年 9 月	2 年目	検討会③	第 1 回と同じ	【内容等】 通りには歩道があるが、幅員の狭いところがあり、サクラの更新にあたっては、安全性に配慮すべき区間が出てくる。そこで、サクラ並木の持続を前提に、当該路線用の基準を作成し、検討会の意見を反映させながら、サクラの現状を生かした更新計画を策定した。				平成 27 年 3 月	3 年目	広報資料配布	地域住民等	【内容等】 街路樹更新計画を周知するため、管理者からの状況報告や説明と住民からの意見、決定事項を図面や写真を用い、分かりやすくまとめた。			
時期	経過年数	方法	対象者																																										
平成 20～24 年	—	街路樹診断	—																																										
【内容等】 樹木医による街路樹診断を行い、サクラ並木の今後のあり方を地域住民等と一緒に検討するための資料とした。診断作業は、観察や計測をしながら記録や写真を撮り、一部簡単な機器測定を行った。																																													
平成 25 年 2 月	1 年目	検討会①	連合町内会長、自治会長、沿道住民、まちづくり団体																																										
【内容等】 最初に参加者が共通の認識が持てるように、勉強会から始めた。勉強会では、街路樹の効果、植え替え更新と寿命、倒木事故の事例、腐朽病とキノコ、病害等、街路樹診断による原因の把握等について樹木医から話を聞き、質疑応答を行った。続いて街路樹の現況について報告し、サクラの場所に健全度別の色分けをした大きな地図の周りに集まって、サクラの現状を理解していただいた。その後、意見交換と今後の進め方等を確認した。																																													
平成 25 年 9 月	1 年目	検討会②	第 1 回と同じ																																										
【内容等】 街路樹の設置基準や道路の建築限界を守りながらサクラ並木を持続させるため、土木事務所で作ったたたき台を提示し、意見をいただいた。街路樹の設置が可能な歩道の幅員、交差点・横断歩道・バス停等からの離隔、樹木の配置間隔、植樹の大きさ、枝の高さ等を確認した。更新計画のたたき台は、ブロックごとに更新方法を決め、配置図を提示して意見をいただいた。																																													
平成 26 年 9 月	2 年目	検討会③	第 1 回と同じ																																										
【内容等】 通りには歩道があるが、幅員の狭いところがあり、サクラの更新にあたっては、安全性に配慮すべき区間が出てくる。そこで、サクラ並木の持続を前提に、当該路線用の基準を作成し、検討会の意見を反映させながら、サクラの現状を生かした更新計画を策定した。																																													
平成 27 年 3 月	3 年目	広報資料配布	地域住民等																																										
【内容等】 街路樹更新計画を周知するため、管理者からの状況報告や説明と住民からの意見、決定事項を図面や写真を用い、分かりやすくまとめた。																																													

従前の樹種と写真	植え替え後の樹種と写真
<p style="text-align: center;">ソメイヨシノ</p> 	<p style="text-align: center;">ソメイヨシノ</p> 
<p>取組みの評価</p>	<p>【道路管理者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丁寧に検討会を重ね、わかりやすい広報資料を積み重ねてきているため、事業についての説明がしやすくなりました。
<p>実施後の維持管理等への効果</p>	<p>(特記事項なし)</p>
<p>その他の工夫点・アイデア等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・該当路線及び街路樹に対して関心の高い地域のリーダーを早期に見つけ出し、協議の窓口を一本化することで、スムーズな合意形成が行えます。
<p>公開資料URL</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本牧さくら通信 <p>https://www.city.yokohama.lg.jp/naka/kurashi/machizukuri_kankyo/jimusho/honnmokusakura.html</p> <p style="text-align: center;"> } 第1～3号「街路樹診断」 第4号「第1回検討会」 第5号「第2回検討会」 第6号「第3回検討会」「街路樹更新計画」の周知 第7～11号「工事計画の周知」 </p>